

テーマ：消費動向調査（2007年3月）

発表日：2007年4月17日（火）

～消費マインドは前期からほぼ変わらず～

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 エコノミスト 結城 良彦
TEL：03-5221-4573

	消費者態度指数 (全国・一般世帯)			消費者意識指標											
			暮らし向き		収入の増え方		雇用環境		耐久消費財の買い時判断						
	前月差	前年差	前月差	前年差	前月差	前年差	前月差	前年差	前月差	前年差	前月差	前年差			
06年2月	49.8	0.3	2.2	46.7	▲ 0.2	0.3	46.2	0.2	0.5	54.9	1.4	6.3	51.4	0.0	1.7
3月	47.9	▲ 1.9	2.7	45.1	▲ 1.6	1.5	43.5	▲ 2.7	1.4	52.9	▲ 2.0	6.4	50.0	▲ 1.4	1.6
4月	50.0	▲ 2.1	2.6	47.0	▲ 1.9	1.0	46.2	▲ 2.7	0.6	55.2	▲ 2.3	6.4	51.6	▲ 1.6	2.4
5月	49.8	▲ 0.2	1.5	46.7	▲ 0.3	▲ 0.3	46.3	0.1	▲ 0.2	54.9	▲ 0.3	5.3	51.2	▲ 0.4	1.2
6月	47.2	▲ 2.6	0.6	44.8	▲ 1.9	▲ 0.4	43.3	▲ 3.0	0.0	51.7	▲ 3.2	3.4	48.8	▲ 2.4	▲ 0.9
7月	48.6	▲ 1.4	0.5	45.8	▲ 1.0	▲ 1.1	45.3	▲ 2.0	▲ 0.4	52.7	▲ 1.0	3.0	50.4	▲ 1.6	0.2
8月	47.6	▲ 1.0	▲ 0.8	44.9	▲ 0.9	▲ 2.0	44.8	▲ 0.5	▲ 1.1	52.1	▲ 0.6	1.7	48.7	▲ 1.7	▲ 1.7
9月	46.3	▲ 1.3	0.8	43.7	▲ 1.2	▲ 0.5	42.9	▲ 1.9	▲ 0.1	50.9	▲ 1.2	3.5	47.7	▲ 1.0	0.2
10月	48.2	▲ 1.9	0.3	45.6	▲ 1.9	▲ 0.7	44.9	▲ 2.0	▲ 1.0	52.4	▲ 1.5	2.5	49.8	▲ 2.1	0.4
11月	48.7	▲ 0.5	0.5	46.0	0.4	▲ 0.3	45.2	0.3	▲ 0.5	53.0	0.6	2.2	50.5	0.7	0.7
12月	45.9	▲ 2.8	▲ 0.6	43.5	▲ 2.5	▲ 0.7	42.1	▲ 3.1	▲ 0.7	49.0	▲ 4.0	▲ 0.3	48.9	▲ 1.6	▲ 0.9
07年1月	48.1	▲ 2.2	▲ 1.4	45.8	▲ 2.3	▲ 1.1	44.7	▲ 2.6	▲ 1.3	51.8	▲ 2.8	▲ 1.7	50.2	▲ 1.3	▲ 1.2
2月	48.4	▲ 0.3	▲ 1.4	45.7	▲ 0.1	▲ 1.0	44.9	0.2	▲ 1.3	52.7	0.9	▲ 2.2	50.1	▲ 0.1	▲ 1.3
3月	46.8	▲ 1.6	▲ 1.1	43.9	▲ 1.8	▲ 1.2	42.9	▲ 2.0	▲ 0.6	51.4	▲ 1.3	▲ 1.5	48.9	▲ 1.2	▲ 1.1

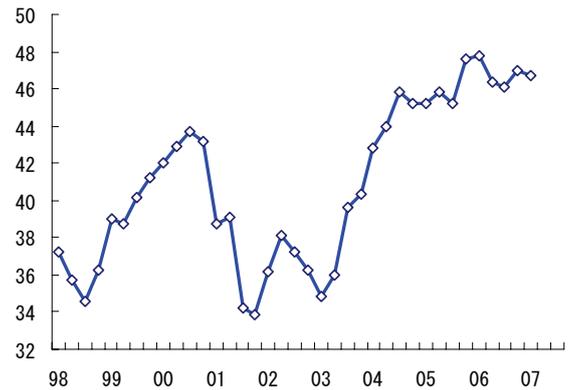
(出所) 内閣府「消費動向調査」

	消費者態度指数 (全国、一般世帯)				
	暮らし向き	収入の増え方	雇用環境	耐久消費財の買い時判断	
05年3月	45.2	43.7	42.1	46.5	48.4
6月	45.8	44.5	42.7	46.8	49.2
9月	45.2	43.8	42.6	46.8	47.6
12月	47.6	45.2	43.7	51.6	50.3
06年3月	47.8	45.2	43.6	52.7	49.9
6月	46.4	44.1	42.8	50.4	48.3
9月	46.1	43.4	42.5	50.3	47.8
12月	47.0	44.4	42.9	51.2	49.3
07年3月	46.7	44.0	43.0	51.0	48.8

(出所) 内閣府「消費動向調査」

※季節調整値、四半期

(%) 消費者態度指数 (四半期、季調値)



出所：内閣府「消費動向調査」

○ 消費マインドは引き続き横ばい

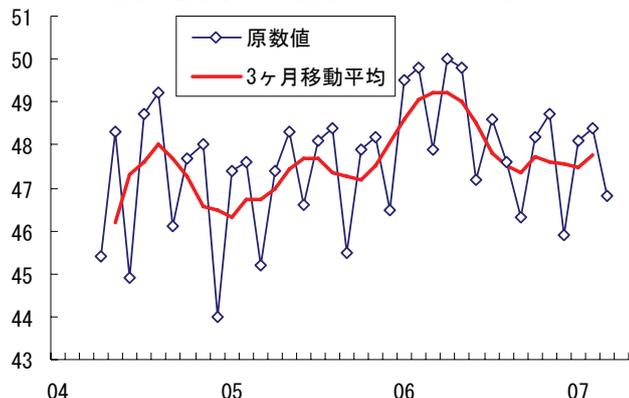
3月の消費動向調査では、消費マインドを示す消費者態度指数（全国、一般）が46.8となり、前月から1.6ポイント悪化となった。今月は「暮らし向き」「収入の増え方」「雇用環境」「耐久消費財の買い時判断」の4項目が全て前月から悪化した。もっとも、消費者態度指数は調査方法の違いから、もともと3の倍数月に低下しやすい傾向がみられる。このため3ヶ月移動平均でトレンドを確認すると、引き続き消費マインドは横ばい圏内と判断できる。四半期ごとに公表される季調値でも46.7と前期から0.3ポイントの小幅悪化となったが、「耐久消費財の買い時判断」が若干低下した程度であり、消費マインドに大きな変化はみられていない。今回調査が実施された3月は世界同時株安の影響が懸念されたが、大きく悪化することもなく、高水準での推移となった。

○ 1-3月期は消費がGDPの押し上げ要因に

消費マインドの改善が消費を押し上げるような状況には至っていないが、雇用の改善などもあって足元の

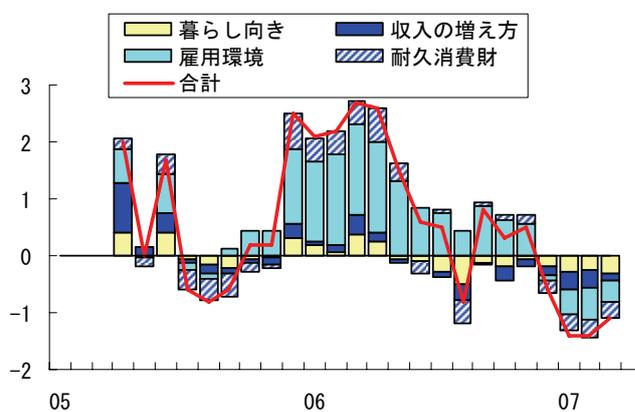
消費は緩やかながらも回復傾向にある。16日に公表された4月の月例経済報告でも個人消費は、「おおむね横ばいとなっている」から「持ち直しの動きがみられる」へと上方修正された。消費関連統計は1-2月も好調なものが多く、1-3月期のGDPについては、個人消費が押し上げに寄与する可能性が高いと思われる。1-3月期は暖冬だったことから春物の売れ行きが伸び、外出が増えたことでサービス消費も押し上げられたようだ。もっとも1-3月期の消費は、こうした天候要因によって押し上げられている側面があるため、消費の回復を見極めるには春以降の指標も確認していく必要があるだろう。

消費者態度指数の推移（全国、原数値）



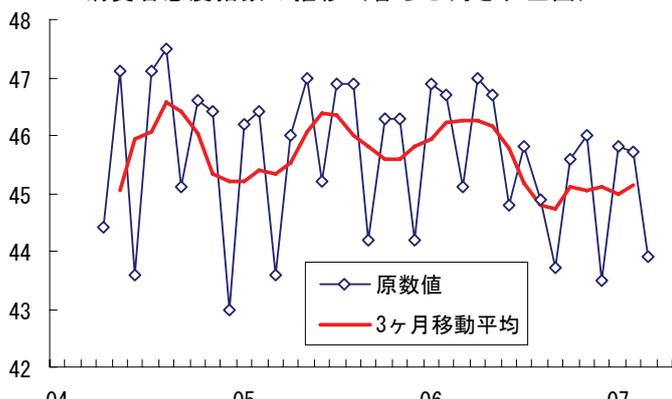
出所：内閣府「消費動向調査」

消費者態度指数（前年差、全国）



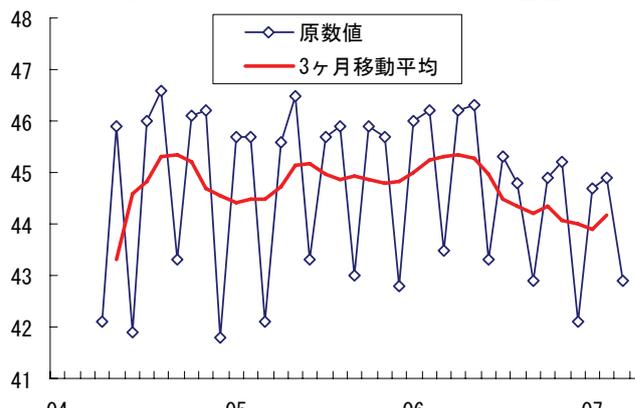
出所：内閣府「消費動向調査」

消費者態度指数の推移（暮らし向き、全国）



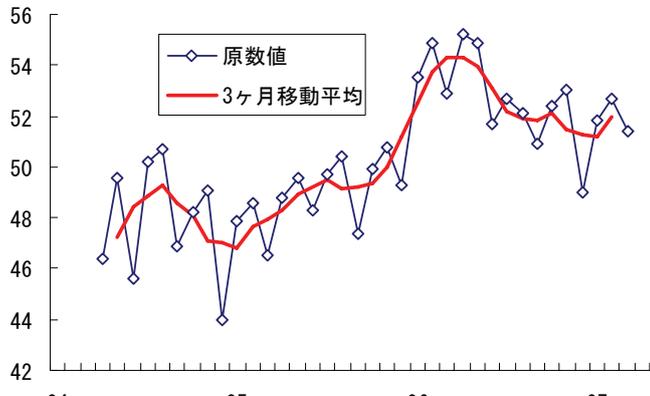
出所：内閣府「消費動向調査」

消費者態度指数の推移（収入の増え方、全国）



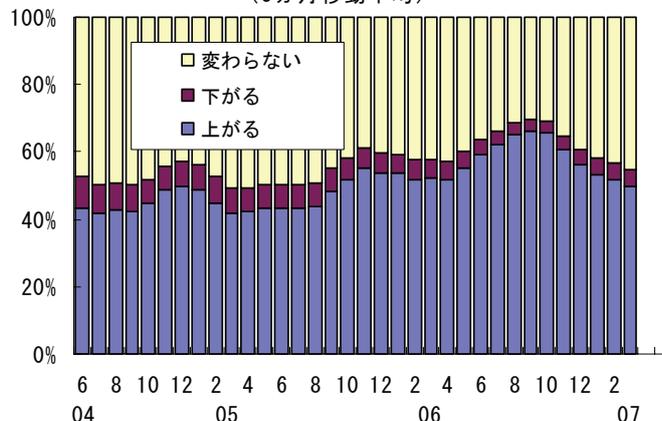
出所：内閣府「消費動向調査」

消費者態度指数の推移（雇用環境、全国）



出所：内閣府「消費動向調査」

消費者が予想する1年後の物価見通し
(3カ月移動平均)



出所：内閣府「消費動向調査」